

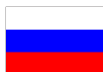
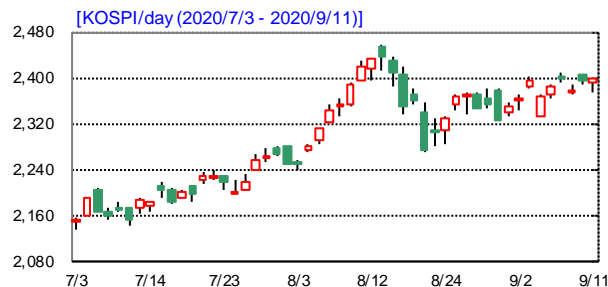


## 【韓国】 総合指数は週間で1.2%高と3週続伸、今週は国外経済イベントに注目が

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.2%高と3週続伸。米株安の影響を受けたが、新型コロナウイルス対策の補正予算編成が伝わる中で上昇基調が続いた。韓国政府・与党は6日、7兆8000億ウォン（約7000億円）規模の第4次補正予算案を編成することで合意。減速する韓国経済の底入れ期待が高まった。指数は週明け7日に反発すると、翌8日には終値ベースで3週間ぶりに節目の2400ポイントを回復。ただ、その後は米ハイテク株安を受けたリスク回避姿勢が強まる中で上値は重く、この水準でもみ合いを続けた。今週は米株相場や国外経済イベントをにらみながらの展開となるか。15日に最大貿易相手国の中国が8月の鉱工業生産などを発表する予定。15-16日に開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果にも注目したい。

### ▼指数チャート

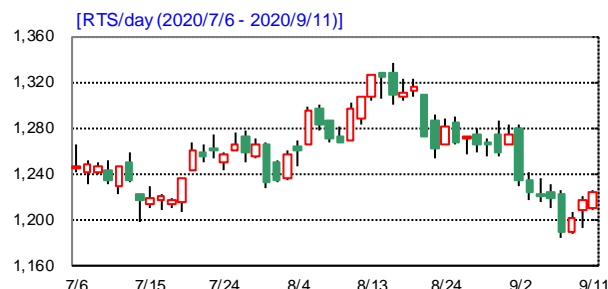


## 【ロシア】 RTS 指数は0.2%高と反発、今週は原油・為替相場にらみもみ合いか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.2%高と反発。欧米株安や原油安を受けて8日に大きく下落したが、その後ルーブル高や対口経済制裁懸念の後退などを背景に反発した。西側諸国との関係悪化懸念から前週に大きく下落したRTS指数は週明け7日に小幅に下落すると、8日は欧米株安や原油安を受けて前日比2.4%安と大幅に5日続落し、5月22日以来の水準まで下落。一方、9日はルーブル相場の上昇や欧米株高を受けて指数は1.0%高と反発。その後も、西側諸国による対口経済制裁懸念の後退やダイヤモンド鉱山のアルロサの大幅高などを追い風に3日続伸した。個別ではエネルギー株が下落したものの、アルロサが10.3%高となったほか、住宅関連株や公益株が上昇した。今週は原油・ルーブル相場をにらんでもみ合う展開か。

### ▼指数チャート



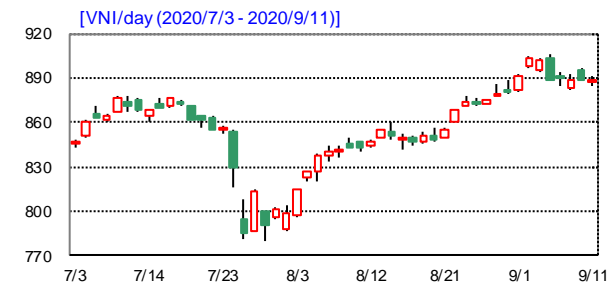
## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.4%安と6週ぶり反落、今週は上値の重い展開か

### 開か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.4%安と6週ぶりに反落。主力株に利益確定売りが強まったほか、原油安を受けてエネルギー株も売られ、指数を押し下げた。前週までの5週間で12.9%上昇したVN指数は週明け7日の場中に905.80ポイントをつけ、2月25日以来の戻り高値を更新したが、午後になると一転、利益確定売りが強まった。特段の材料がない中、不動産のビンググループが2.7%安、金融のベトナム投資開発銀行が3.6%安と時価総額上位の銘柄が下げ、原油安を受けてエネルギーのペトロベトナム・ガスが3.5%安。指数は結局、前営業日比で1.5%安と続落した。8日はベトインバンクなどの金融株などが上昇し、指数は0.2%高と小幅に反発したが、9-10日は小幅に続落し、11日はほぼ横ばいで終了した。今週は上値の重い展開か。

### ▼指数チャート



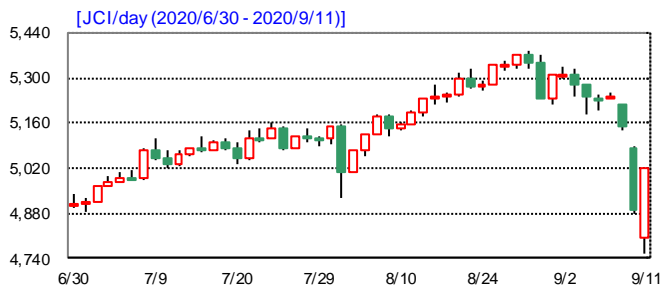


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.3%安、大規模社会制限の再導入決定を嫌気**

ジャカルタ総合指数は週間で 4.3%安と続落。大規模社会制限の再導入決定が嫌気された。週初の 7 日は前週後半から下げ止まらず 3 日続落。8 日は反発したが、9 日は中央銀行が通貨の安定を図るため為替市場に介入したことで売られ、前日比 1.8%安と反落した。10 日は新型コロナウイルスの感染者数増加を受け、14 日からの再導入が決まった大規模社会制限が嫌気されて指数が急落。一時、取引が中断し、終値で前日比 5.0%安と 5000 ポイントを割り込んだが、11 日はこの水準を回復して引けた。今週は 15 日に 8 月の貿易統計が発表されるほか、17 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

### ▼指数チャート

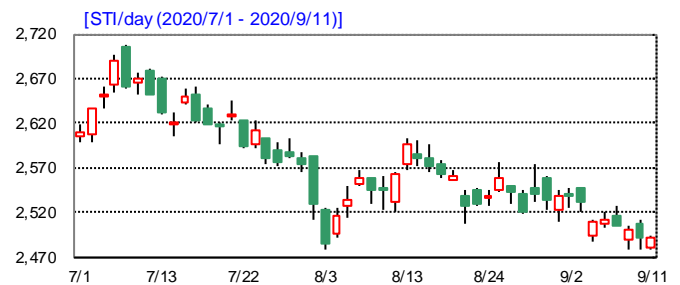


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.8%安、今週は 8 月の非石油地場輸出に期待**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.8%安と続落。国内の経済イベントが少ない中、さえない値動きが続いた。週初の 7 日は小幅に反発したものの、8 日は方向感に乏しく反落。9 日は前日の NY ダウが大幅続落した上、英アストラゼネカが新型コロナウイルスのワクチンに副作用の疑いがあるとして、治験を中断したことも投資家心理を冷やし、指数は続落した。その後も離脱協定の修正を巡る英国と欧州連合 (EU) の対立などの外部要因が地合いの悪化を主導し、結局、11 日まで 4 日続落して取引を終えている。今週は 17 日に 8 月の非石油地場輸出が発表される予定で、3 カ月連続で前年の水準を上回るかが焦点。

### ▼指数チャート

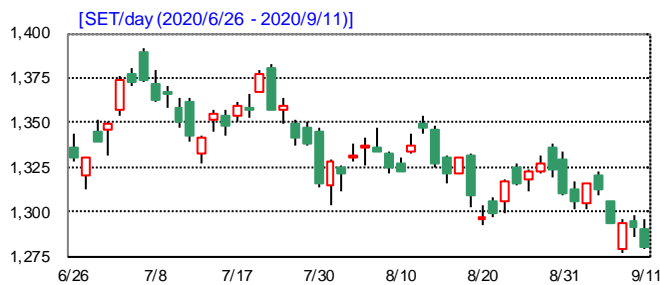


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.4%安、週末の終値は 4 カ月ぶりの安値**

SET 指数は 4 日間の取引で 2.4%安と続落。連休明けに終値で 1300 ポイントを割り込むと、週末まで 5 営業日続落と軟調な値動きが続いた。4 連休明けの 8 日はドバイ原油価格が下落した影響でエネルギー株が売られ、指数は前営業日比 1.4%安と続落。その後もじりじりと下値を広げると、11 日は前日の NY ダウがハイテク株の下落に加え、米上院で追加の経済対策案が否決されたことで反落した流れを引き継ぎ、売り優勢の展開。終値で約 4 カ月ぶりの安値を更新した。今週も国内の経済イベントが少なく、15 日発表の中国の 8 月の固定資産投資や鉱工業生産、15-16 日開催の米 FOMC が意識されそうだ。

### ▼指数チャート

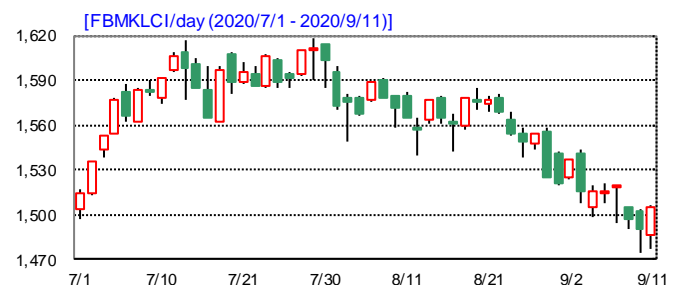


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.7%安、1500 ポイントを挟んでもみ合い**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.7%安と 3 週続落。週末に反発したが補えなかった。週前半は 8 日まで 3 営業日続伸。一方、9 日は米 WTI 原油先物が 1 バレル 40 ドルを割り込んだ影響でエネルギー株が売られたほか、ゴム手袋メーカーのトップ・グローブとハルタレガの下落も痛手で、指数は終値で前日比 1.5%安と節目の 1500 ポイントを割り込んだ。10 日も買い材料に乏しく、売り優勢の展開が続いたが、11 日はゴム手袋 2 社が買い戻された効果で前日比 1.0%高と 3 日ぶりに反発して引けている。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。16 日はマレーシアの日の祝日のため休場。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。